

大学開発・主催のインターンシップ

【課題発見・解決型インターンシップ】

概要

地域社会において様々な価値創造に取り組む職業人と関わり合いながら、組織が抱える課題に対して、学生がチームとなり、組織への理解、課題の分析、解決・改善に向けた具体的な提案を行っていく。その過程を通じて、業界や企業の理解、自己理解を深めるほか、協調性、チームワーク、課題解決力、主体性、チャレンジ精神、実行力、コミュニケーション能力等を育むインターンシップです。
1年生から参加できます。

到達目標

- ①価値創造の最前線にいる職業人・企業人と関わり合いながらチームでの実践的な挑戦を通じて、チームワーク、課題解決力、主体性、チャレンジ精神、組織理解・自己理解を育む。
- ②企業研究を通じて、産業界、企業、職業を理解する。
- ③上記のことを通じて、社会・組織・仕事を捉え直し、自らの職業観を醸成し、主体的なキャリア形成を考える。

応募をする際の留意点

事前（5月頃）に企業による募集説明会を実施しますので、必ず参加してください。応募の際は、キャリア教育・就職支援センターにお申し出ください。

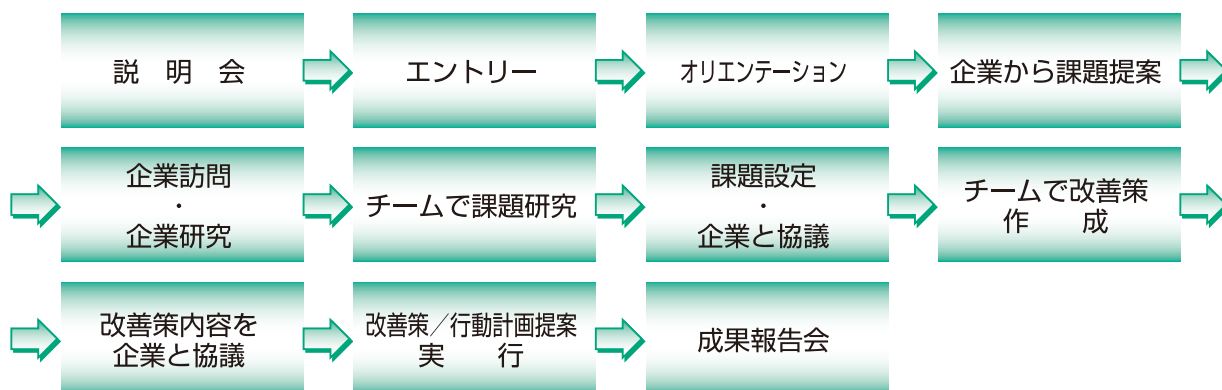
受け入れに関する手続き

受け入れが決定したら、ビジネスマナー講座・オリエンテーションなどを実施しますので必ず参加してください。並行して、大学を通して契約書等に関する諸手続を行います。

単位の認定

一定の要件を満たせば、基盤教育の「自由科目」として単位が認定されます。
11ページの「単位の認定」を確認してください。

目的を達成するための主なプログラム例



問い合わせ先

キャリア教育・就職支援センター

TEL : 028(649)5104

大学開発・主催のインターンシップ

【課題発見・解決型インターンシップ】(つづき)

企業から与えられた課題 (過去の例)

受入企業	課題
株式会社横倉本店 (25年度)	若者のお酒需要を掘り起こそう!
藤井産業株式会社 (26年度)	SNS等を使用した企業から学生への情報伝達方法を考える
栃木セキスイハイム株式会社 (26年度)	住宅マーケットのアイデアを企画する
リンク栃木ブレックス (26年度)	学生が楽しめるプロバスケの試合を創出し、ホームゲームに若者を
株式会社アキモ (26年度)	浅漬販売促進のアイデアを企画する
リンク栃木ブレックス (27年度)	バスケ会場に若い学生が集まる仕組み作りを考えよ
宇都宮動物園 (27年度)	脱レジャー施設、これからの時代の動物園の在り方、魅せ方を考えよ

参加した学生の声

教育学部総合人間形成課程 3年

今回のインターンシップは、達成感のあるものでした。特に積極性や責任感、忍耐力を身につけることが出来ました。また、社会勉強としても学べるものがたくさんあり、参加して良かったと思えました。一人では難しいことも他のメンバーがいたからこそ乗り越えられたと思います。学んだことを今後の日常生活でも活かしていけたらなと思います。

国際学部国際社会学科 3年

私がこのインターンシップで感じたことは、授業や他の企業では経験する機会のない、アイデアを実現させるまでの道筋を作り上げる過程を経験できたことです。これは私の大きな力になった事を実感できました。アイデアを自身の外に向けて提案するという能力を伸ばせる機会は、大学生活の中ではあまり用意されていない。今回時間をかけて考え提案するという貴重な体験をすることができました。

国際学部国際文化学科 2年

今回のインターンシップを通して、実際に自ら企画実行するという本を読んだだけでは分からない、多くの事を学ぶ事が出来た。この仕事のやりがい、喜びと同時に壁にぶつかったり、社員さんの話を直接聞いたりしたことで難しさも体験した。自分に向いているかを見極め、自分の進路に真剣に考える良い機会になった。今回の経験はとても貴重なものとなりました。そして私はやはりこの仕事がしたいと再認識することが出来ました。

農学部応用生命化学科 2年

自分が見つけた課題の要因を基に、一から企画を立案し、会社の了承を得るという一連の流れをやらせていただいた。このことは学生生活ではできないことであり、貴重な体験でした。また、たくさんの社会人の方々からアドバイスをいただき、今回得られたことは、私が社会に出てからも大いに役に立つと思います。さらに自分自身の積極性も身についたと感じ、今後様々なことに挑戦していきたい。

農学部農業経済学科 1年

私はインターンシップを通して様々な体験をし、多くのことを学ぶことができた。就業体験ではふだん経験することのない業務を行うことができ、従業員がどのような仕事をしているのか、どんなことにやりがいを感じ、どんなことに苦労するのかを身をもって感じる事ができた。また、社会の厳しさにも触れ、失敗が許されない世界で仕事をするの大変さや、その中で物事をやり遂げた時の、今までにない嬉しさを体験できた。

国際学部国際社会学科 3年

今回の活動では、チームで取り組むことにより、いい意味で常に自分とメンバーを比較することができた。自分はどのような仕事か得意なのか、あるいは不得意なのかを相対的に見つけることができたし、不得意な点に関しては周囲を手本に改善に努めることができたと思う。また、社会人の方と長期にわたって仕事をすることで、あいさつや、報告・連絡・相談など、社会人としての基本をしっかりと身につけることができたのはとても大きな成果だった。